

「教養教育に関するアンケート調査（卒業生調査）」の結果報告

大学教育開発研究センター

加藤かおり

1. 調査の目的

本調査は、平成 14 年に独立行政法人大学評価・学位授与機構が全国の国立大学を対象として実施した教養教育についてのテーマ別自己評価の報告書作成にあたり実施された。

調査の目的は、卒業生から見た教養教育における教育効果を検証し、今後の教育改革の指針を得ることにある。具体的には、教養教育の履修時に興味深かった科目の分野、具体的な科目名、教養教育によってどのようなことが身についたのか、さらに今後教養教育において身につけるべき能力とは何かについて尋ねた（参考資料調査票参照）。

2. 調査概要

- (1)調査時期：平成 14 年 5 月～6 月
- (2)調査方法：郵送法によるアンケート調査
- (3)調査対象：全学部およそ 1 学年相当人数の 1900 名の卒業生を調査対象とした。各学部とも半数を教養部時代の卒業生、半数を教養部改組後とし、無作為抽出した。
- (3)標本数と回収率：有効回収標本数 514、回収率 27.1%

3. 標本の属性

標本の属性は、後部の図表に示す通りである（図 1～5）。

4. 教養教育において、興味深かった科目

(1)興味深かった科目

まず「教養教育を履修した当時、興味深かった科目の分野は何でしたか。」を尋ねた（問 7 参考資料）。

全体では、「自然・宇宙」（13.8%）が最も割合が高く、次いで「社会問題・政治・経済・法律」（13.2%）、「哲学・倫理・思想」（12.9%）の割合が高い（参考資料）。

この興味深かった科目について、性別や教養部状況等では、とくに大きな相違は見られなかった。

卒業学部の文系（人文学部、経済学部、法学部、教育人間科学部（教育学部））、理系（農学部、理学部、工学部）、医歯系（歯学部、医学部）の分類では、次のような特徴がみられた（表 1）。

まず、文系では、「社会問題・政治・経済・法律」、「語学」、「哲学・倫理・思想」といった専門に近い分野を中心に興味深かったとする一方で、「環境・文明・科学技術」のような学際的な分野での関心度が低い。理系では、「自然・宇宙」分野への興味が最も高いのにつづき、「哲学・倫理・思想」「環境・文明・科学技術」分野への関心が高い。また、医歯系では、「芸術・文化」の割合が最も高く、次いで「語学」、「健康・スポーツ」の割合が高い。さらに、これらの分野への関心度が、他の系列より高い割合であるのが特徴的である。

(2)再度履修したい科目の分野

卒業後「履修しておけばよかった」もしくは「もう一度履修したい」と思う教養科目について尋ねた（問 9 参考資料）。

全体では、「語学」（22.2%、そのうち英語が 61.2%、他の外国語が 38.8%）を再度履修したいという割合が最も高く、次いで、「社会問題・政治・経済・法律」

(14.3%)、「情報処理・プログラム言語」(13.2%)の割合が高い(参考資料)。

学部の系列別にみると、やはりすべての系列で「語学」を再度履修したいとする割合が高く、特に医歯系で顕著である(表2)。その他、履修した当時の興味関心と比べて、文系において「情報処理・プログラム言語」の割合が高いこと、理系で「社会問題・政治・経済・法律」の割合が高いことが特徴的である(表1表2)。

5. 教養教育と専門教育、どちらが役立っているか

「現在、在学中に学んだ教養教育と専門教育とでは、どちらが役に立っているか。」を尋ねた(問12 参考資料)。

全体では、「専門科目」の方が役立っていると答えた人が54.9%と最も高く、次いで「どちらも役立っている」という人が21.5%、「どちらともいえない」が11.9%であった。

教養科目が役立っているという人の割合は、「教養教育の方が役立っている(5.9%)」「どちらも(教養も専門も)役立っている(21.5%)」を合わせて、27.4%であった。

学部の系列別にみると、いずれの系列でも「専門科目」をあげた割合がもっとも高く、医歯系では、その割合が82.3%と特に顕著である(表3)。

この系列別の割合を、さらに教養部時代の卒業生と改組後の卒業生別にみたものが表4である。この表でみると、まず文系では、改組後の方が「専門科目」をあげた割合が高くなっている。理系および医歯系では、教養部状況による相違はほとんど見られない。

さらに、系列別を性別にみると、教養教育が役立っているとする割合(「教養教育」および「どちらとも」役立っているの合計)が最も高いのは、文系の男性である。逆に「専門教育」の方が役立っているとする人は、文系、理系ともに女性の方が多い(表5)。また、理系男性では「どちらも役立っている」と回答した割合が女性よりも高い。

6. 教養教育における教育効果

「教養教育によって、どのような事柄が身についたり養われたと思うか。」を尋ねた(問10 参考資料)。

全体では、「幅広い知識」(そう思う16.2%、まあそう思う51.1%)が最も割合が高く、次いで「専門を理解するための基礎的な力」(そう思う10.4%、まあそう思う41.5%)、「ものごとを総合的に判断する力」(そう思う8.4%、まあそう思う42.9%)の割合が高い。

教養部時代の卒業生と改組後の卒業生において、教養教育の効果について比較すると、最も顕著な相違がみられるのが「幅広い知識」「ものごとを総合的に判断する力」の効果であり、いずれも改組後の卒業生で身についたとする割合が高くなっている(表6)。次いで、「探求する心」「自分の心身の健康に気を配る大切さ」「情報処理の力」の効果も改組後でやや高い。これに対して、教養部時代の卒業生の方が身についたとする割合が高かったのは「外国語の能力」であった。

学部の系列別に上位3位をあげると、文系は「幅広い知識」「ものごとを総合的に判断する力」「専門を理解するための基礎的な力」、理系は「幅広い知識」「専門を理解する基礎的な力」「ものごとを総合的に判断する力」、医歯系は「専門を理解するための基礎的な力」「幅広い知識」「探求する心」であった(表7)。

7. 今後の教養教育への期待

(1) 今後、後輩に教養教育で身につけてほしい能力

「教養教育に関連して、後輩達に社会に出る前に学んでおいてほしいこと、身に付けてほしい能力は何ですか。」を尋ねた(問11 参考資料)。

全体では、「自分の考えを説明したり、発表する力」(是非身に付けてほしい59.4%、身につけた方がよい36.3%)をあげた人の割合が最も高い。

「是非身に付けてほしい」能力としては、「ものごとを総合的に判断する力」(62.0%)、「自分の考えを

説明したり、発表する力」(59.4%)、「社会常識」(55.1%)、「外国語の能力」(53.4%)、「他人と議論する力」(51.0%)の順で割合が高かった。

在学中の教養部状況別にみると、「ものごとを総合的に判断する力」を除くすべての項目について、改組後の卒業生の方が「是非身に付けてほしい」とする割合が高くなっている(表8)。中でも特に、「社会常識」、「外国語の能力」、「他人と議論する力」、「情報処理の力」、「幅広い知識」に関して、「是非身に付けてほしい」という割合が高い。

学部の系列別に「是非身に付けてほしい」能力の上位3位をみると、文系は「自分の考えを説明したり、発表する力」「ものごとを総合的に判断する力」「社会常識」、理系は「ものごとを総合的に判断する力」「自分の考えを説明したり、発表する力」「外国語の能力」、医歯系は「外国語の力」「ものごとを総合的に判断する力」「社会常識」であった(表9)。

(2) 教養教育に期待される役割

今後、教養教育に関連して後輩に身につけてほしい能力に関する回答から、教養教育にどのような役割が期待されているのかを知る手がかりとして、因子分析を行った。

その結果、次の4つの因子が得られた。

①第1因子

「他人と議論する力」「自分の考えを説明したり、発表する力」

②第2因子

「学んだことを社会や世界で役立てたいと思う心」「心身の健康に気を配る大切さ」「情報処理能力」「専門を理解する基礎的な力」「外国語能力」

③第3因子

「自ら課題を見つける力」「探究する心」

④第4因子

「幅広い知識」「社会常識」

これらの因子(教養教育において身に付けることが期待される能力の因子)を総括すると、第1因子

は、ディベートのための論理性およびコミュニケーション能力、プレゼンテーション能力、第2因子は、心身のコントロールも含めて実践的な基礎能力およびスキル、第3因子は、課題探究および解決能力、第4因子は、幅広い知識および常識となる。

したがって、これらの因子に代表される能力を育むことが、卒業生が期待する教養教育の役割であると考察される。

まとめ

本調査によって明らかとなった結果から、今後の教養教育を考えていく上で次のような課題があげられる。

① 学生の専門性による関心分野の偏りの改善

学生の専門性により、関心分野の幅に偏りがみられる。特に、文系の卒業生では、教養教育が役立っているとする割合は高いが、その興味深かった科目をみると、専門に近い分野への偏りがみられ、学際的な分野への関心が低い。これに対し、理系学生では、専門分野に近い領域に加え、文系学生に比べて幅広い分野への関心の拡がりが見られる。この理系学生が多様な分野を履修する傾向は、現在在学中の学生の履修状況においても見られた(平成14年「教養教育自己評価書」参照)。

これらの調査結果より、今後、とくに文系における教養教育履修の偏向の是正(理系科目や学際的科目の履修への配慮)を検討する必要があるだろう。

② 「語学」教育の重要性

語学、とくに英語を再度履修したいという要望にみられるように、教養教育における語学への期待度は高い。外国語教育に関しては、前述のように教養部時代の学生の方が教育効果が高かったと回答する結果もでていいる。今後、時代の変化、学生の実状を十分に考慮した教育内容・方法の改善が望まれる。

③ 現代的「教養」に求められる能力

卒業生が後輩に最も身につけてほしい能力としてあげられた「ものごとを総合的に判断する力」とは、包括的な能力と考えられる。この包括性の中に、どのようなことが期待されているのかを見た因子分析の結果から、第1にコミュニケーション能力やプレ

ゼンテーション能力、第2に心身の管理能力を含めた基礎的学力およびスキル、第3に課題探究能力、第4に幅広い知識および常識が、現代的な「教養」の力としてあげられる。これらのうち、第4の能力については、従来の教養においても取り組まれてきたものである。

一方、第1、第2、第3の能力については、すでに本学において平成14年度より全学的に実施されている共通基礎教育における、スタディスキルズ、情報教育、語学教育、およびその他の科目において教育目標に掲げられている能力とほぼ重複している。

ただし、コミュニケーション能力やプレゼンテーション能力、課題探究能力などの能力を効果的に育成する教育に関しては、近年、ようやくその重要性が認知され始めたということもあり、未だ教育カリキュラム、プログラムともに確立されていない。大学生として必要な基礎的な学習スキルについての調査研究も先行研究は少なく、高等教育研究の分野でも新しい課題として研究が進められつつある段階である。教育実践の場においては、多くの場合、個々の教員の試行的な努力で担われているのが現状である。

今後は、第一に、学生の能力、意識等の実状に関する基礎研究をもとに、新たに教養的な能力として必要とされている能力を分析すること、第二に、それらの能力を育成するための教育カリキュラムならびに教育プログラムに関して、すでに個々の教員によって蓄積された経験知を共有しながら、開発を進めていくことが急務である。

図1 属性 (性別)

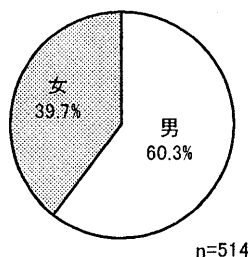


図2 属性 (年代)

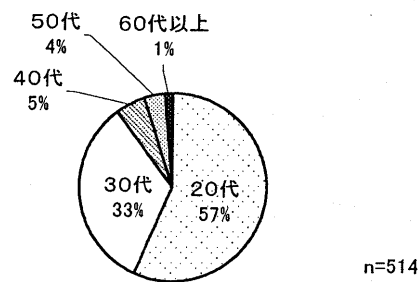


図3 属性 (卒業学部)

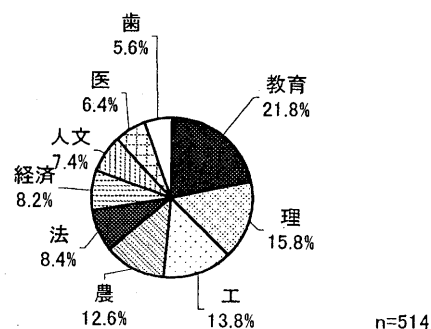


図4 属性 (教養部状況)

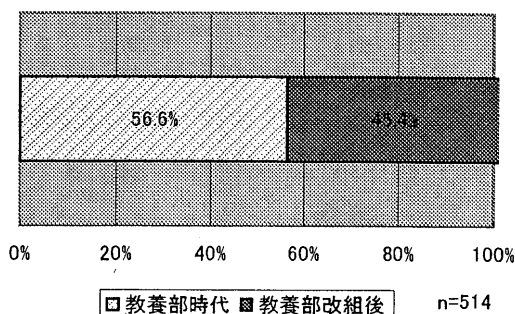
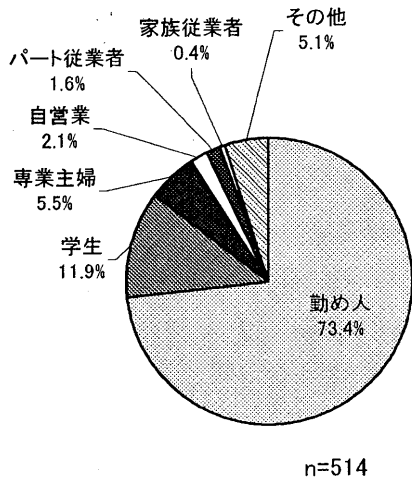


図5 属性（職業）



自然・宇宙	7.0	9.7	10.7
環境・文明・科学技術	3.7	9.2	3.9
語学	23.0	19.6	30.1
健康・スポーツ	4.1	4.1	1.9
情報処理・プログラム言語	16.8	9.7	11.7

表3 「教養と専門、どちらが役立っているか」(系列別) (%)

	文系 n=234	理系 n=216	医歯 n=62
教養科目	9.0	4.2	0.0
専門科目	47.4	55.1	82.3
どちらも役立っている	21.8	23.6	12.9
どちらも役立っていない	8.1	12.9	0.0
どちらともいえない	13.7	5.1	4.8

表1 教養教育を履修した当時興味深かった科目の分野 (系列別) (MA %)

	文系	理系	医歯
哲学・倫理・思想	13.6	13.1	8.3
考古学・歴史・社会史	11.1	7.5	7.4
社会問題・政治・経済・法律	15.5	11.2	10.2
芸術・文化	12.2	9.7	19.4
自然・宇宙	11.0	17.4	11.1
環境・文明・科学技術	5.3	12.4	5.6
語学	14.1	9.3	16.7
健康・スポーツ	9.9	11.0	13.9
情報処理・プログラム言語	6.7	6.9	2.8

表2 再度履修したい教養科目の分野 (系列別) (MA %)

	文系	理系	医歯
哲学・倫理・思想	10.5	10.8	8.7
考古学・歴史・社会史	9.6	7.9	5.8
社会問題・政治・経済・法律	13.3	16.2	10.7
芸術・文化	9.0	8.8	9.7

表4 「教養と専門、どちらが役立っているか」(系列・教養部状況別) (%)

	文系		理系		医歯系	
	教養部	改組後	教養部	改組後	教養部	改組後
教養科目	9.9	8.5	3.7	5.0	0.0	0.0
専門科目	39.6	52.3	54.1	57.5	82.9	80.0
どちらも役立っている	28.7	16.9	23.0	25.0	12.2	15.0
どちらも役立っていない	7.9	8.5	6.7	2.5	0.0	0.0
どちらともいえない	13.9	13.8	12.6	10.0	4.9	5.0

表5 「教養と専門、どちらが役立っているか」(系列・性別) (%)

	文系		理系		医歯系	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性
教養科目	11.2	7.4	4.7	2.1	0.0	0.0
専門科目	41.8	51.5	53.3	61.7	85.7	75.0
どちらも役立っている	22.4	21.3	27.2	10.6	11.9	15.0
どちらも役立っていない	11.2	5.9	6.5	0.0	0.0	0.0
どちらともいえない	13.3	14.0	8.3	25.5	2.4	10.0

表6 教養教育によって身についた能力(教養部状況別) (%)

		①そう思う	②まあそう思う	①と②の合計
幅広い知識	教養部	16.2	46.9	63.1
	改組後	16.5	56.3	72.8
社会常識	教養部	7.6	25.2	32.8
	改組後	4.3	33.9	38.2
専門を理解するための基礎的な力	教養部	10.8	42.4	53.2
	改組後	10.1	39.9	50.0
自ら課題を見つける力	教養部	6.1	18.3	24.4
	改組後	2.6	23.0	25.6
探究する心	教養部	7.6	28.6	36.2
	改組後	7.9	36.2	44.1
外国語の能力	教養部	6.5	39.9	46.4
	改組後	8.7	30.6	39.3
情報処理の力	教養部	3.6	18.9	22.5
	改組後	5.2	22.6	27.8
自分の心身の健康に気を配る大切さ	教養部	5.4	17.4	22.8
	改組後	3.5	26.6	30.1
	教養部	5.4	24.5	29.9

学んだ事を社会や世界で役立てたいと思う心	教養部	5.4	24.5	29.9
自分の事を説明し世界で発表する 力と思う心	教養部	5.9	28.9	34.8
	改組後	5.7	20.9	26.6
他人と議論する力	教養部	4.7	16.5	21.2
	改組後	2.2	13.9	16.1
ものごとを総合的に判断する力	教養部	9.7	37.4	47.1
	改組後	7.0	49.1	56.1

表7 教養教育によって身についた能力（学部系列別） (%)

		①そう思う	②まあそう思う	①と②の合計
幅広い知識	文系	20.1	53.0	73.1
	理系	13.8	54.8	68.6
	医歯系	9.7	30.6	40.3
社会常識	文系	6.8	29.4	36.2
	理系	6.5	31.5	38.0
	医歯系	1.6	21.0	22.6
専門を理解するための基礎的な力	文系	10.3	38.2	48.5
	理系	11.1	44.9	56.0
	医歯系	8.1	41.9	50.0
自ら課題を見つける力	文系	6.0	25.1	31.1
	理系	3.7	17.1	20.8
	医歯系	1.6	14.5	16.1
探究する心	文系	9.4	33.3	42.7
	理系	7.4	30.7	38.1
	医歯系	1.6	31.1	32.7
外国語の能力	文系	9.4	37.9	47.3
	理系	7.0	34.9	41.9
	医歯系	1.6	30.6	32.2
情報処理の力	文系	6.0	22.7	28.7
	理系	3.7	20.0	23.7
	医歯系	0.0	14.5	14.5
自分の心身の健康に気を配る大切さ	文系	4.3	25.2	29.5
	理系	4.7	21.0	25.7
	医歯系	4.8	12.9	17.7
学んだ事を社会や世界で役立てたいと思う心	文系	7.2	29.8	37.0
	理系	3.7	26.9	30.6
	医歯系	3.2	14.5	17.7

自分の考えを説明したり、発表する力	文系	9.8	23.0	32.8
	理系	5.1	23.1	28.2
	医歯系	1.6	12.9	14.5
他人と議論する力	文系	4.3	16.2	20.5
	理系	3.7	16.7	20.4
	医歯系	0.0	9.7	9.7
ものごとを総合的に判断する力	文系	10.7	49.6	60.3
	理系	8.3	40.6	48.9
	医歯系	0.0	25.8	25.8

表8 今後、後輩に教養教育で身につけてほしい能力（教養部状況別）（％）

		①是非身に付けてほしい	②身に付けた方がよい	①と②の合計
幅広い知識	教養部	35.8	56.2	92.0
	改組後	46.3	47.6	93.9
社会常識	教養部	48.3	43.9	92.2
	改組後	63.0	31.7	94.7
専門を理解するための基礎的な力	教養部	26.0	57.9	83.9
	改組後	31.2	53.2	84.4
自ら課題を見つける力	教養部	46.0	46.0	92.0
	改組後	47.2	48.0	95.2
探究する心	教養部	46.9	46.5	93.4
	改組後	47.2	45.9	93.1
外国語の能力	教養部	48.2	44.9	93.1
	改組後	59.1	33.5	92.6
情報処理の力	教養部	34.8	51.6	86.4
	改組後	49.1	40.4	89.5
自分の心身の健康に気を配る大切さ	教養部	17.6	53.5	71.1
	改組後	27.9	51.1	79.0
学んだ事を社会や世界で役立てたいと思う心	教養部	23.2	55.1	78.3
	改組後	27.1	50.2	77.3
自分の考えを説明したり、発表する力	教養部	56.0	39.3	95.3
	改組後	63.0	33.0	96.0
他人と議論する力	教養部	46.9	44.4	91.3
	改組後	55.7	36.5	92.2
ものごとを総合的に判断する力	教養部	62.9	32.7	95.6
	改組後	60.6	32.5	93.1

表9 今後、後輩に教養教育で身につけてほしい能力（学部系列別）

（%）

		①是非身につけてほしい	②身に付けた方がよい	①と②の合計
幅広い知識	文系	43.0	48.9	91.9
	理系	40.0	53.5	93.5
	医歯系	33.3	60.0	93.3
社会常識	文系	59.0	35.5	94.5
	理系	52.6	40.4	93.0
	医歯系	49.2	42.4	91.6
専門を理解するための基礎的な力	文系	28.6	55.6	84.2
	理系	28.7	54.2	82.9
	医歯系	28.8	61.0	89.8
自ら課題を見つける力	文系	50.4	44.4	94.8
	理系	46.0	46.5	92.5
	医歯系	33.9	57.6	91.5
探究する心	文系	47.6	46.8	94.4
	理系	48.4	43.7	92.1
	医歯系	40.7	52.5	93.2
外国語の能力	文系	50.0	40.2	90.2
	理系	53.7	40.2	93.9
	医歯系	65.6	34.4	100.0
情報処理の力	文系	49.1	41.9	91.0
	理系	33.6	49.1	82.7
	医歯系	40.0	53.3	93.3
自分の心身の健康に気を配る大切さ	文系	23.8	54.0	77.8
	理系	21.5	52.3	73.8
	医歯系	20.7	44.8	65.5
学んだ事を社会や世界で役立てたいと思う心	文系	30.5	52.8	83.3
	理系	20.1	51.9	72.0
	医歯系	22.0	54.2	76.2
自分の考えを説明したり、発表する力	文系	65.5	30.2	95.7
	理系	56.3	39.1	95.4
	医歯系	46.7	50.0	96.7
他人と議論する力	文系	54.0	37.0	91.0
	理系	49.8	42.3	92.1
	医歯系	43.3	50.0	93.3
ものごとを総合的に判断する力	文系	63.7	30.3	94.0
	理系	63.1	31.3	94.4
	医歯系	51.7	45.0	96.7

(参考資料)

教養教育に関するアンケート調査

新潟大学ご卒業の皆様へ

調査ご協力をお願い

目に新しい緑がまぶしい時候となりました。皆様方におかれましては、社会の各所でご活躍のことと思います。さて、このたび、独立行政法人大学評価・学位授与機構が、全国の国立大学を対象として、「教養教育」についてのテーマ別自己評価を行うことになりました。

新潟大学では、今後教育改革を進めるための指針を得る良い機会と捉え、これまでの教養教育についての総合的な点検作業に取り組んでおります。そのための重要な基礎資料として、ご卒業になった皆様方の社会経験を積んだ目からの振り返った教養教育についての率直なご意見をお伺いしたいと思い、アンケートを企画しました。大変お忙しいところとは存じますが、ご協力賜りたくお願い申し上げます。

本調査の結果はすべて統計的に処理されますので、個別のデータを公表したり、ご迷惑をおかけすることは一切ございません。

なお、お手数ですが、同封の封筒にて、平成14年5月31日(金)までにご投函くださいますよう併せてお願い申し上げます。

平成 14 年 5 月

新潟大学自己評価専門委員会委員長

濱 口 哲

本調査問い合わせ先：

950-2181 新潟市五十嵐 2 の町 8050

新潟大学大学教育開発研究センター

tel 025-262-6343 (担当：加藤)

問 1. 性別はどちらですか。(n=514)

1. 男性(60.3) 2. 女性(39.7)

問 2. あてはまる年代の番号に○をおつけください。(n=514)

1. 20代(56.6) 4. 50代(3.7)
2. 30代(33.3) 5. 60代以上(1.4)
3. 40代(5.1)

問 3. 新潟大学の卒業年は何年でしたか。西暦でお答えください。

() 年

問4. 卒業された学部の番号に○をおつけください。(n=514)

1. 人文学部(7.4)
2. 経済学部(8.2)
3. 法学部(8.4)
4. 教育学部(教育人間科学部)(21.8)
5. 農学部(12.6)
6. 理学部(15.8)
7. 工学部(13.8)
8. 歯学部(5.6)
9. 医学部(6.4)

問5. あなたが教養教育を受けたのは、教養部があったときですか。教養部が改組された後でしたか。
(n=509)

1. 教養部があったとき(54.6)
2. 教養部が改組されてから(1994年以後)(45.4)

問6. 現在のご職業について、あてはまる番号に○をおつけください。(n=513)
(複数あてはまる方は、主な方1つに○をおつけください)

1. 自営業：農・林・漁業(0.2)
2. 自営業：商・工・サービス業(小売店、飲食店など)(0.6)
3. 自営業：自由業(開業医、弁護士・芸術家など)(1.4)
4. 家族従業者：農・林・漁業の家業手伝い(0.0)
5. 家族従業者：商・工・サービス業の家業手伝い(0.2)
6. 家族従業者：自由業の家業手伝い(0.2)
7. 勤め人：管理職(民間会社・官公庁の課長以上)(4.7)
8. 勤め人：事務職・専門職(事務職員・教員・技術者など)(65.5)
9. 勤め人：技能・労務職(技能工・販売員・外交員など)(3.1)
10. パート従業者(1.6)
11. 無職：専業主婦(夫)(5.5)
12. 無職：学生(11.9)
13. その他(5.1)

問7. 教養教育を履修した当時、興味深かった科目の分野は何でしたか。次にあげる分野のうち、あてはまる番号すべてに○をつけてください。(n=513)

1. 哲学・倫理・思想(12.9)
2. 考古学・歴史・社会史(9.2)
3. 社会問題・政治・経済・法律(13.2)
4. 芸術・文化(11.7)
5. 自然・宇宙(13.8)
6. 環境・文明・科学技術(8.4)
7. 語学(12.2)
8. 健康・スポーツ(10.7)
9. 情報処理・プログラム言語(6.5)
10. 何もない(1.3)

問 8. 興味深かった教養科目の具体的な科目名があれば、お書きください。

()

問 9. 卒業後、「履修しておけばよかった」もしくは「もう一度履修したい」と思う教養科目はありますか。次にあげる分野のうち、あてはまる番号すべてに○をつけてください。(n=508)

1. 哲学・倫理・思想(10.4)
2. 考古学・歴史・社会史(8.5)
3. 社会問題・政治・経済・法律(14.3)
4. 芸術・文化(9.0)
5. 自然・宇宙(8.5)
6. 環境・文明・科学技術(6.1)
7. 語学(22.2) ⇒ 1. 英語(61.2) 2. 他の外国語(38.8) (n=237)
8. 健康・スポーツ(3.9)
9. 情報処理・プログラム言語(13.2)
10. 何もない(3.9)

問 10. 教養教育によって、次のような事柄が身についたり養われたと思いますか。

(1)から(12)までの項目ごとに、あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

	そう思う	まあそう思う	あまり思わない	全く思わない
(1)幅広い知識(n=513)	1 (16.2)	2 (51.1)	3 (29.0)	4 (3.7)
(2)社会常識(n=513)	1 (6.0)	2 (29.2)	3 (51.1)	4 (14.6)
(3)専門を理解するための基礎的な力(n=511)	1 (10.4)	2 (41.5)	3 (38.9)	4 (9.2)
(4)自ら課題を見つける力(n=513)	1 (4.5)	2 (20.5)	3 (56.5)	4 (18.5)
(5)探究する心(n=510)	1 (7.6)	2 (32.0)	3 (47.6)	4 (12.7)
(6)外国語の能力(n=512)	1 (7.4)	2 (35.7)	3 (40.4)	4 (16.4)
(7)情報処理の力(n=510)	1 (4.3)	2 (20.6)	3 (51.4)	4 (23.7)
(8)自分の心身の健康に気を配る大切さ(n=510)	1 (4.5)	2 (22.0)	3 (44.3)	4 (29.2)
(9)学んだ事を社会や世界で役立てたいと思う心(n=513)	1 (5.3)	2 (26.7)	3 (51.3)	4 (16.8)
(10)自分の考えを説明したり、発表する力(n=513)	1 (6.8)	2 (21.8)	3 (46.0)	4 (25.3)
(11)他人と議論する力(n=513)	1 (3.5)	2 (15.6)	3 (48.7)	4 (32.2)
(12)ものごとを総合的に判断する力(n=513)	1 (8.4)	2 (42.9)	3 (37.0)	4 (11.7)

問 11. 教養教育に関連して、後輩達に社会に出る前に学んでおいてほしいこと、身に付けてほしい能力は何ですか。

是非身につけてほしい 身につけた方がよい あまり必要ない 全く必要ない

(1)幅広い知識(n=510)	1 (40.6) 2 (52.2) 3 (6.7) 4 (0.6)
(2)社会常識(n=506)	1 (55.1) 2 (38.3) 3 (5.9) 4 (0.6)
(3)専門を理解するための基礎的な力(n=509)	1 (28.7) 2 (55.6) 3 (13.4) 4 (2.4)
(4)自ら課題を見つける力(n=508)	1 (46.7) 2 (46.9) 3 (5.5) 4 (1.0)
(5)探究する心(n=505)	1 (47.1) 2 (46.1) 3 (6.1) 4 (0.6)
(6)外国語の能力(n=509)	1 (53.4) 2 (39.5) 3 (6.5) 4 (0.6)
(7)情報処理の力(n=508)	1 (41.5) 2 (46.3) 3 (11.0) 4 (1.2)
(8)自分の心身の健康に気を配る大切さ(n=507)	1 (22.5) 2 (52.3) 3 (22.1) 4 (3.2)
(9)学んだ事を社会や世界で役立てたいと思う心(n=506)	1 (25.1) 2 (52.6) 3 (18.6) 4 (3.8)
(10)自分の考えを説明したり、発表する力(n=510)	1 (59.4) 2 (36.3) 3 (3.5) 4 (0.8)
(11)他人と議論する力(n=510)	1 (51.0) 2 (40.8) 3 (7.1) 4 (1.2)
(12)ものごとを総合的に判断する力(n=508)	1 (62.0) 2 (32.5) 3 (4.5) 4 (1.0)

問 12. 現在のあなたにとって、在学中に学んだ教養科目と専門科目とで、どちらが役立っていますか。
あてはまる番号 1 つに○をつけてください。(n=508)

1. 教養科目(5.9)
2. 専門科目(54.9)
3. どちらも役立っている(21.5)
4. どちらも役立っていない(5.9)
5. どちらともいえない(11.9)